

議案等の審議結果

予 算	
令和2年度三木市一般会計補正予算(第9号)	可決(全会一致)
予算の総額に歳入歳出それぞれ2億8,329万5千円を追加し、435億22万4千円とする。	
【歳出】	
・市役所3階の待合ロビーのレイアウトや備品を変更し、座席間の距離を確保することで、市役所本庁舎における感染防止対策を行うとともに、現在、金物を展示しているプロムナードに、市の特産である山田錦やゴルフの展示コーナーを設け、さらなるPRを図っていくための費用を追加。〔680万円〕	
・早ければ令和3年3月下旬から65歳以上の高齢者などへの新型コロナウイルスワクチンの接種が開始される見込みとなったため、予約を受け付けるコールセンターの設置など、ワクチンが供給された場合に迅速に接種を開始できる体制整備を進めるための費用を追加。〔7,680万円〕	
・日本酒の消費低迷により価格の下落や作付面積の減少が想定される山田錦など酒造好適米の生産者に対し、次年度以降も生産継続のための支援金を支給するための費用を追加。〔9,707万円〕	
・県の要請に応じて、営業時間の短縮(時短営業)に協力いただいた事業者に対し、1店舗当たり1日6万円の協力金を県・市協調で支給するための費用を追加。〔3,290万円〕	
・新型コロナウイルス感染症の影響が特に深刻な飲食店において、店内飲食に加えてテイクアウトサービスを実施する場合に、1店舗当たり10万円の支援金を支給するとともに、この事業の参加店舗で利用できるテイクアウト応援チケットを全市民に配布するための費用を追加。〔1億4,900万円〕	
・市独自の事業者支援として実施してきた中小企業等家賃支援給付金及び中小企業事業継続支援給付金事業について、令和2年10月30日で受付が終了しており、給付額が確定したことから、予算残額を減額。〔△8,117万5千円〕	
・令和3年4月から吉川地域でデマンド型交通を運行開始することに伴い、デマンド型交通運営補助金について、12月市議会における議会からの指摘を踏まえ、予約運行体制について抜本的な見直しを行い、改めてデマンド型交通の電話予約受付など業務に必要な費用を追加。〔190万円〕	
【歳入】	
・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減収が見込まれる税及び交付金を減額し、この減収分については、減収補填債及び猶予特例債を借り入れるほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など国庫支出金の増額をもって収支の均衡を図る。	